



県老連会長表彰決定

令和 4 年度青森県老連会長表彰が決定され、県老連から連絡がありました。

町老連関係では、左記の通り 3 団体・9 個人の方々が選出されました。

今年度は、県老連創立 60 周年にあたり、表彰者の枠が広げられ多数の方々が表彰されることになりました。

表彰授与式は 10 月 7 日(金)、リンクステーションホール青森”で開催する青森県老人クラブ連合会創立 60 周年記念式典・青森県老人クラブ芸能発表大会にて執り行う予定です。

誠におめでとうございます。

◎県老連優良老人クラブ賞

矢沢長寿会

(清野草名義会長)

館川シニア倶楽部(木村トモ子会長)

常盤養命会 (三上 一会長)

◎県老連個人功労賞

木村美智子(町老連副会長)

神 昭 子(町老連副会長)

佐々木了子(町老連監事)

竹島 逞子(仲町登喜和会長)

田澤 順子(曲新田健老会長)

坂岡 明(柳壮寿会長)

相坂ナツエ(白子高砂会長)

白戸 治(東町シニアクラブ会長)

◎特別感謝 館山 新一(県老連監事・町老連会長)



常盤養命会健康講座風景



仲町登喜和会の研修会風景

女性部だより

女性部研修旅行

コロナウイルス感染拡大に伴い、約 3 年間、活動を控えておりましたが、去る 6 月 22 日(水)、感染予防に十二分気を付けながら出かけました。

当日は天気に恵まれ、まず、板柳町”ふるさとセンター”へ、敷地内では、博物館・お菓子・焼き物・染物等々様々な工房を見学したり、青空の下足湯に浸かる方たちとそれぞれ満喫していました。その後、鶴田町”つがる富士見湖”の木橋(全長三〇〇m) ”鶴の舞橋”へ、参加者の中には橋を渡り切れるか心配された方もおりましたが、橋の上からの眺望の素晴らしさは、岩木山の雄姿、思っていたより広い湖、更に、自然に出来たリングゴが実るという小島等、皆さん景色を堪能し、楽しんで、全員無事に渡り切りました。(最近、鶴の舞橋は、撮影スポットとして脚光を浴びているそうです)

散策後の昼食は格別美味しく頂き、昼食後は女性部恒例の出し物 ”生き生きふれあい体操”に始まり、続いて ”藤崎音頭”へ移ります。輪になって踊る人・合いの手を入れる人・囃し立てる人と楽しい時間を過ごし、帰路へ。途中 ”道の駅あるじゃ”で一休みし、皆さん無事に元気で帰ってきました。新型コロナだ、オミクロン株など先が見えませんが、1 日でも早く収束することを願っております。



令和 4 年度 女性部研修旅行 (つがる富士見湖) 2022.6.22

重 陽



各年代別コロナワクチン接種状況

8 月 22 日現在

年代	人口	1回目		2回目		3回目		4回目	
		人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率
90歳以上	383	378	98.7%	377	98.4%	334	87.2%	170	44.4%
80～89歳	1,328	1,293	97.4%	1,288	97.0%	1,176	88.6%	668	50.3%
70～79歳	1,971	1,874	95.1%	1,870	94.9%	1,784	90.5%	1,037	52.6%
60～69歳	2,254	2,115	93.8%	2,115	93.8%	2,001	88.8%	621	27.6%
60歳以上合計	5,936	5,660	95.4%	5,650	95.2%	5,295	89.2%	2,496	42.0%
50～59歳	1,964	1,815	92.4%	1,808	92.1%	1,618	82.4%		
40～49歳	1,903	1,707	89.7%	1,695	89.1%	1,426	74.9%		
30～39歳	1,483	1,335	90.0%	1,322	89.1%	1,020	68.8%		
20～29歳	1,053	900	85.5%	893	84.8%	672	63.8%		
12～19歳	970	888	91.5%	881	90.8%	559	57.6%		
12歳以上合計	13,309	12,305	92.5%	12,249	92.0%	10,590	79.6%		
5歳～11歳	804	364	45.3%	334	41.5%				
5歳以上合計	14,113	12,669	89.8%	12,583	89.2%				
全人口計	14,627								

※対象人数は令和 4 年 4 月 1 日時点の藤崎町民の全人口です。(14,627 名)
※接種者数は、ワクチン接種記録システム (VRS) に読み込まれた方のデータです。

藤崎町コロナワクチン接種状況と

60 歳以上の方へ四回目接種のお願い

福祉課

【60 歳以上の方へ 4 回目接種のお願い】

新型コロナウイルス感染症は、”高齢者”ほど重症化しやすい、一定の ”基礎疾患”を持つ方についても重症化しやすいことが明らかとなっております。重症化の予防効果は、接種後 6 週間経過後でも低

長寿顕彰式のお知らせ

令和 4 年度藤崎町長寿顕彰式を開催します。

長年にわたり社会に貢献された長寿の方や、婚姻後満 60 周年及び満 50 周年の節目を迎えられるご夫婦を顕彰する「長寿顕彰式」を新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、被顕彰者等関係者のみで開催する予定です。

また、例年合同で開催している町老人クラブ連合会主催の「健老の集い」は日を改めて行う予定です。楽しみにされていた方には、誠に申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

☆日 時 9 月 10 日(土)午前 10 時(受付：午前 9 時)

☆場 所 町文化センター 大ホール

☆対象者 最高長寿、99 歳(白寿)、

95 歳、88 歳(米寿)、

ダイヤモンド婚(60 周年)、

金婚(50 周年)

☆お問合せ 福祉課福祉係 Tel(88) 8 1 9 5

健老の集い延期のお知らせ

今年度の健老の集いは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となりました。今後の日程については、【白寿】でお知らせいたします。

9 月 行 事 予 定 表			
日	曜	行 事	時刻
1	木	囲碁・将棋部	12:30
2	金		
3	土		
4	日		
5	月	老連役員会	10:00
		芸能部	12:00
6	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
7	水		
8	木		
9	金		
10	土	長寿顕彰式(文化センター)	10:00
11	日		
12	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
13	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
14	水	茶道部	13:00
15	木	囲碁・将棋部	12:30
16	金		
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
		広報委員会	13:30
21	水	茶道部	13:00
22	木	囲碁・将棋部	12:30
23	金	秋分の日	
24	土		
25	日		
26	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
27	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
28	水	茶道部	13:00
29	木		
30	金	【白寿】配布日	9 時以降

先輩に学ぶ (27)
旧藤崎町老連文集「白寿」から
第三号 昭和59年度 (14)

忍ぶ事の尊さ

下町 吉沢岩次郎

まだ記憶に新しいことだが、NHK テレビ朝の連続ドラマ「おしん」の放映があった。大ブームに乗り、大好評であったと思う。

辛抱に耐え、真心を持って人を信じ、常に新しいことに向かつて前進する芯の強い女、これが「ドラマおしん」の正体だったと思う。

この放映から、子どもの躰について深く考えさせられる面があったのではなからうかと思う。子供が欲しいが、子供が要求する通りに応じることがなく、我慢する心、耐え忍ぶ気持ちを養うことが必要なんだなと、誰しもが考えさせられたことではなかつたらうか。子育てのための大変結構な事だったと思う。

ところで、昔のことを言うとかく角が立つが、子供の躰については昔はそれなりに厳しさがあつたように思われる。昔、田舎で多くの家庭がそうであつたように、私の生まれ育つた家庭も、親子三代夫婦が一つ屋根の下に住み、一時期家族が十四・五人いたこともあつた。

田舎では、大方、子供は大家族の中で育ち、その中でいつとはなしに躰られていたのである。他方学校においても、先生の存在は誠に大きかつたし、また一方社会においても厳しさがあつて、子供を決して甘やかしはしなかつたように思う。

この頃は昔に比し、子供の躰が甘くなっているのではなからうか。お互いが、気にいらぬことを忍びあわなければ一緒に暮らしてゆけないのではなからうか。

夏目漱石の「草枕」を引用をするわけではないが「兎角人の世は住み憎い」とある。たしかに忍ぶということは非常に面倒なものであるという考えから、こういう言葉が出てきたのではないだろうか、と私は思っている。しかし、物事は考えようではないだろうか。

忍ぶとか、耐えるとか言えば、いかにも自分を犠牲にして、自分の主体性を放棄するという消極的

態度の様に感ずるが、忍んで虫を殺して我慢することとは決して主体性の放棄ではなく「エゴ」に近いことではないだろうか。しかも、単に利己主義の自分中心の物事の考えでなく、調和のある、連帯を生かす積極的な生活態度ではないだろうか。

だが、協調性を発揮するため、相手を恨み、怒りながら耐え忍ぶのでなく、根底に何を要請し、要求しているのかをよく理解し納得のうえで継続するものでなければならぬのではないだろうか。

人には、それぞれその人の立場や事情というものがあるので、協調することを一概に強要するわけにはいかないだろうと思う。実践する事の必要性を、その人なりに検討して理解に努めれば、自然とその人を包容する寛大な気持ちが湧いてくる。

そのような気持ちで忍んでこそ本当の和が生じるものであると思う。そしてこの「理解する気持ち」もただ安易に妥協に流れるのではなく、自分の信じる真理については、あくまでも堅持し、貫き通す信念も合せて養いたいものである。

幸福になる心

一 ハイという素直な心

一 すみせんという反省の心

一 おかげ様という謙譲の心

一 こそでただよますと奉仕の心

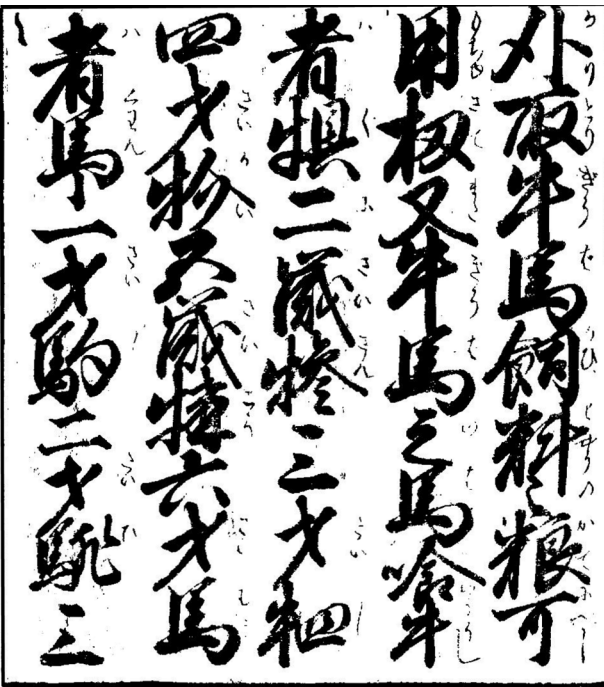
一 あがたごころをいやすと

感謝報恩の心

青森県老連新聞 34号より

古文書に学ぶ (21)

【百姓往来絵抄】江戸書林版(21)



先回の内容

先回は、農作業の暇

読み下し文

刈取牛馬飼料之糧 用可扱又牛馬之馬喰牛者根二歳物三歳物四才物五歳物六才馬者學一才駒二才駒三

今回の内容

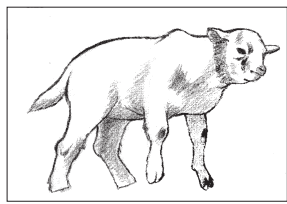
刈り取った草などは牛馬の飼料や糧にするよう指示している。

また、売買取引の牛馬の種類については、年齢毎に漢字で表記し、漢字によって年齢が分かるようになっていた。

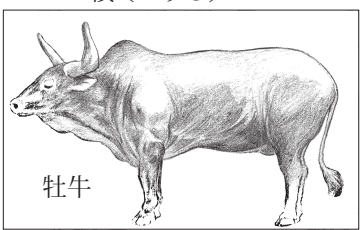
主な語句の解説 (牛の絵は「動物イラスト大百科」より)

馬喰 物とものを交易すること。また、博労・伯馬 楽とも言い、牛馬を売買する人。

- 二歳の牛
- 三歳の牛
- 四歳の牛
- 五歳の牛
- 六歳の牛
- 一歳の馬
- 二歳の馬
- 三歳の馬



牝 (こうし)



牡牛

◆ 歯なしの話 126 ◆

― 続く ―

佐藤 透

世の中には同じようなことが続くというジンクスがある。案外と悪い結果が続くことが多いということである。

ところで、この所の芸能界で自殺が続いている。実は「フアイト イッパツ」の彼が亡くなった時に、同じことが続いて起きなければいいなと危惧していた所、私も好きな、お笑い芸人の上島竜平さんが続いた。

人を楽しませたり、笑わせたりする人が何でだろうと思うが、落語や漫才などの所謂お笑い芸人は、その芸を持続させることが大変なのではと思つてた。私たちが考えも及ばない苦労があるに違いないと今回の二人の芸能人の死に接して感じた。

人生 80・90 歳の時代に 60 歳代で人生を終える程の苦しみを感じていたに違いない。

本当に人の心・気持ちの深層の闇は計り知れず、深く……時に悲しいものなのかも知れない。

画家・作家等々が産みの苦しみの余り、自分の命を絶つ方も多い。ゴッホの様に自傷する人もいる。本県では太宰治が自死した。

常々思うが、文学・絵画・芸能などの本来無いものを新たに産み出すことは至難の努力と共に、人一倍の才能が必要なことなのではないかと思う。

今回続いた二名の方の不幸は残念である。

これらの方以外の方が同じようになりません様祈るばかりです。

俳句

追分石に左やまみち吾亦紅

鳴海 艸人

そつくりの寝顔三つに蟬しぐれ

木村美智子

休園の開けて五歳児天高し

海野比呂子

ネブタ祭り暗き夜秋の風

清水稼志男